

確かな「見方・考え方」を育てる授業づくり

～各教科等において「聞き方」の育成を目指した指導の工夫～

(3年計画の2年次)

校長 島浦 靖

1 研究主題について

(1) 教育目標具現化の立場から

青森県及び八戸市の学校教育指導の方針を受けるとともに、児童や家庭・地域社会との連携のもと学校経営に創意工夫をこらし、教育目標「めあてをもって自ら学ぶ子」の育成に取り組んでいく。その根幹として校是である「徳と知識を磨く」という理念を共有し、笑顔いっぱいの学校を目指している。学校は、子どもたちにとって学ぶ楽しさを実感できる場所でなければならない。その基盤となるのが、学級において受容的・共感的な支持的風土が溢れることである。児童は、各教科等における習得・活用・探究の学びの過程において、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」という、物事を捉える視点や考え方を広げていく中で、自分自身が受け入れられ、認められ、かけがえのない存在であることを実感したとき、学ぶ力が育まれると考えた。

支持的風土が溢れる本校において、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方を広げていく。各教科等の学習だけでなく、生涯にわたって重要な働きをする「見方・考え方」の育成を目指す本研究は、本校の目指す児童像を具現化委するため有効であると考え、研究主題を設定した。

(2) 児童の実態から

昨年度は、新型コロナウイルス蔓延の影響により、思うような校内研究を進めることができなかった。そのため、主に個人での研究に取り組んだ。

その結果、児童が自分ごととして課題に取り組む姿が見られたのは、課題提示の仕方によって大きく変わることだった。各教科等における「見方・考え方」を高めるためには、いかに児童自身が必要感をもって課題に取り組むかによる。各教科等における「見方・考え方」を研究することによって学習のねらいが明確になる。そのねらいにせまるため、おのずと課題提示を工夫せざるを得なくなる。そのことによって、児童の学習意欲が高まり、自分ごととして課題に取り組ませることにつながった。しかし、各教科等における「見方・考え方」を働かせるためには、休業中の影響を想定して、児童の実態を把握した上で課題を設定したり、物事を捉える視点を与えたりする必要があった。

そこで今年度は、研究の副題に『各教科等において「聞き方」の育成を目指した指導の工夫』を掲げる。「聞き方」によって物事の捉える視点は多様になるだろう。そこで、今年度の目指す児童像を「見方・考え方」を広げる子どもとし、「聞き方」に重点を置いた指導を工夫することによって、物事を捉える力の育成を目指す。

課題解決に向けて、多様な「見方・考え方」をすることで、「自分でもできる」という自己肯定感をもたせることができ、努力目標の「進んで学ぶ子」の育成につながると考える。

2 研究のねらい

考えの根拠となる確かな「見方・考え方」を育てるために、児童の発達段階を考慮し、様々なとらえ方ができる「聞き方」の育成を目指した指導を工夫することによって、各教科等における「見方・考え方」が広がる手立ての有効性について、日常の授業実践を通して明らかにしていく。

3 研究仮説

児童の発達段階を考慮し、様々なとらえ方ができる「聞き方」の育成を目指した指導を工夫することによって、各教科等における「見方・考え方」を広げることができる。

4 研究内容

子どもの変容が見える授業づくりとして、以下の2点を示す。

- (1) 児童の発達段階を考慮し、様々なとらえ方ができる「聞き方」を明確にした指導の効果について検証する。
- (2) 様々なとらえ方ができる「聞き方」の指導は、日常の授業において実践できているかについて検証する。

5 年間計画

(1) 授業研究等

月	日	学年・授業者等	全体会等
4	5		令和3年度の研究について共通理解 ・研究の方向性・概要・研修計画 ・研修講座等の確認
5	12		令和3年度の学校訪問について共通理解 ・問題解決的な学習に向けての改善について ・指導案の様式
6	2		個人研究（指導案作成）
	9		教科部会（指導案確認）
	24	教育指導課・センター訪問	
9	15	第1回授業研究 低学年ブロック 2年2組 教諭 石倉 睦	研究協議会において成果と課題を見出す
	22	特別支援学級授業公開	
10	13	【要請訪問】 第2回授業研究 中学年ブロック 4年2組 教諭 八木橋威智子	研究協議会において成果と課題を見出す
11	24	第3回授業研究 高学年ブロック 5年2組 教諭 木村 佳憲	研究協議会において成果と課題を見出す
12	1		ブロック研修における実践研究報告会 今年度の成果と課題（アンケート記入）
1	11		今年度の成果と課題 （アンケート結果より考察・まとめ）
	19		次年度の研究の方向性について
2	9		次年度の研究の方向性について

(2) 一般研修

月	日	一 般 研 修	
5	12	特別支援教育に関わる研修会①	なかよし学級 担任 前田 健一
6	24	一人一台端末の活用について	八戸市総合教育センター 主任指導主事 石井一二三先生
7	21	救命救急講習会	八戸市消防署本部署員
8	19	特別支援教育に関わる研修会②	
2	16	特別支援教育に関わる研修会③	学力検査分析報告